

津市立ハツ山小学校だより

この学校にわたしたち

2023. 11. 7

N043

“良書”と出会うために…



かつて読書好の先輩から「本は子どもたちに読んでもらうのを今か今かとじっと待っているんだよ。だから、学校では『本のある環境』が大切になる。」と教えてもらったことがあります。私は個人的に書店に行き、並んでいる本を眺めるのが大好きです。本を読んで今まで知らなかったことを知るということを考えただけでワクワクします。(しかし、そのうちに読みたい本が選びきれずに、悩みに悩んだ末に複数冊の本を買って帰ることもしばしばで

す。)学校では司書と図書ボランティアの方々が本のディスプレイや飾りつけをいつも工夫していただき、子どもたちが本に親しめるようにしてくださっています。先日、11月2日に教育長と津市教育委員会職員が本校を来校した際、図書室を案内したのですが、図書館経営の充実ぶりに大変感心されていました。目立たないところで毎週コツコツと支えていただいているボランティアの皆様には感謝です。また、本校の図書担当は委員会の児童とともにビブリオバトルや90冊チャレンジなど読書習慣が身につくように取り組んでくれています。私も昨年と今年で通常の図書購入に加え、141冊の本を図書室に入れました。読書が苦手な子どももたくさんいることと思います。無理やり、“読みなさい”では読書好きどころか読書自体が嫌いになってしまいます。まずは、薄い本でもいいので読書習慣をつけていってもらいたいと思います。読書習慣が身につけばいつか自分を変えてくれる“良書”と出会えるようになるからです。“良書”との出会いは、子どもたちが大きくなっていく時に何が正しくて、どのように行動すべきなのか…という“思考の基盤”になっていくことでしょう。11月9日まで読書週間です。期間を越えても読み続けられるといいですね。

黄色いネクタイ

11月6日。いつもように各学年の授業の様子を見に教室を回っていて1年生の教室に入った瞬間、子どもたちは私を見て興奮状態に…。最初は意味が分かりませんが、原因は黄色いネクタイでした。普段、紺色のネクタイを多くしている私が異なる色のネクタイをしていたからでした。別の教室に行っても同じような反応がありました。子どもたちはネクタイに限らず、きっとその人の表情や心理状態をも敏感に感じるのだろうなと思いました。私はおしゃれには縁遠い人間ですがこの日は関西が盛り上がった38年ぶりのAREにちなんで縦じまのシャツに黄色いネクタイをして出勤していました。

